

合奏だけでは味わえない楽しさ、奥深さがここにはある 2018年、年の始めをコンサートで楽しみましょう！！

アンサンブル ラ・メール

今年で3回目の参加となりますアンサンブル ラ・メールです。茨城、東京、千葉、埼玉とメンバーの住まいが広範囲にわたることで、練習場所の確保が難しいことが悩みです。

月一度程度の練習をマイペースで行ってしておりますが、New Year Concertに参加させていただくことで演奏の目標ができ、新たな気持ちで曲と向き合えることに感謝しております。演奏者、聴衆ともに楽しめる演奏をしたいと思えます。

静岡ユース マンドリンアンサンブル

私たちは、「静岡ユースマンドリンオーケストラ」に所属するメンバーによるアンサンブルです。ユースオケはマンドリニストの中野薫先生を指導者とし、静岡にゆかりのある若手奏者を中心に結成した合奏団で、現在は3月3日の第2回定期演奏会に向けて練習に励んでいます。

今回出演するのはメンバーの一部ですが、ユースオケの魅力が少しでも伝われば幸いです。よろしくお祈りします！！

“Burletta” da Biancafiore

ブルレッタ (Burletta) は、都内で活動するマンドリン合奏団であるアンサンブル・ビアンカフィオーリの有志のメンバーにより結成されたマンドリンアンサンブル。

主に四重奏をレパートリーとした演奏を行うが、ビアンカフィオーリで指揮者を務める田口俊太郎が音楽監督として曲づくりを行うというスタイルが特徴的。選曲、使用する楽器などにもマニアックな拘りを貫いている。

Ensemble RECITARE

「アンサンブルレチターレ」はマンドリンを故日比野俊道氏に師事した門下生仲間+aで編成したグループで、結成して半年の出来立てのグループです。

このニューイヤーコンサートが新たな門出となる最初のコンサートになります。

これから多様なジャンルの音楽に挑戦し、演奏の可能性を広げていきたいと思っています。

Pino Bozzolo

リュート・モデルノとギターによるデュオ。2008年に結成。ともに広島女学院中学高等学校ギターマンドリンクラブの卒業生有志による楽団、「グルッポ・マンドリナータ・ミドリ」に所属。

大下 真由：第7回大阪国際マンドリンコンクール低音独奏部門第2位。

新井義悠氏に師事。

松江 亜紀子：第16回山陰ギターコンクール・プロフェッショナル部門第3位。

徳武正和氏に師事。

グリエールの会

湘南でアンサンブルを楽しんでいます。通常はMMDGの組合せが多く、今月は「ムニエルの会」、来月は「バッハの会」という遊び方をしています。

今回はヴァイオリンとチェロのための楽譜を入手し、原曲をDuoで試してみようと「グリエールの会」を発足。

初めての組合せを半年間たっぷり楽しむことに致しました。

ペコリーノ マンドリンアンサンブル

私たちペコリーノマンドリンアンサンブルは、このニューイヤーコンサートには2年ぶり3回目の参加となります。

過去2回はカルテットでしたが、今回はマンドリン・マンドラ・ギターのトリオ編成で臨みます。前回同様、このコンサートのために新進作曲家の方に曲をお願いしました。どんな世界が繰り広げられるかワクワクしています。どうぞお楽しみに！

モーツァルト・プレクトラム四重奏団

「弦楽四重奏の曲を楽譜に手を加えずに演奏する」をコンセプトに2014年に結成し、月に1度の練習を続けている。

楽器編成は、弦楽四重奏にならぬ、マンドリン1・2、マンドラコントラルト、マンドロンチェロ。ヴァイオリン属のために書かれた曲を、原曲のままいかにマンドリン属で演奏、表現するかを探求している。

Quartetto Bacchanale

「バッカスマンドリンアンサンブル」の団員によるカルテット。お酒の神様バッカスを称える酒宴の踊り「バッカナル」から名付けました。広島・山口を中心に活動しています。

2017年8月結成と、まだまだ未熟なカルテットですが、バッカナルの名の通り楽しい酒宴のようなひとときを皆様にお届けしたいと思います。

record

昨年のニューイヤーコンサートに出演したメンバーが中心となり、今年も懲りずにアンサンブルを結成。

「みんなが好きな曲を楽しいメンバーで演奏する」、これだけがコンセプトのアンサンブルですが、学生時代に戻った気持ちで音楽を楽しみたいと思えます。

